

プログラムの作成にあたって

国立山口徳地青少年自然の家がすすめる

プログラム作成のキーワード

自然 「自然に親しむ」配慮がされている。

国立山口徳地青少年自然の家は「自然に親しむ」ことを第一の目的に作られた教育施設です。自然に親しむプログラムになっていますか。

目的 宿泊学習等の「目的」を明確にし、目的に適した「活動」と「方法」を組み合わせる。

宿泊学習等の効果を高めるためには、「目的」を明確にするとともに、「絞り込む」ことも大切です。また、目的に応じた「活動」と「方法」を選択し、「一連の流れ」になるように組み立てます。

ねらいの確認

その活動の目的（協力、親睦、責任、自然に触れるなど）をはっきりさせる。



活動の実施



ふりかえり

活動の中で「どんなことがあったのか」、「それはなぜか」など、活動の目的に沿って、気づきや学びを確認したり、仲間と分かち合ったりします。

安全 気象条件の考慮や活動場所の安全確認を行う。

朝晩の気温の低下や炎天下での熱中症、冬季の日没時刻等の気象条件及び活動場所の危険箇所の確認や危険行動の予測など、安全面への配慮が必要です。

ゆとり 日程にゆとりがあり、休憩や移動のための時間などが配慮されている。

机上で検討されたものは、実施してみると意外に時間に余裕がないものです。また、団体で行動する際には、移動、トイレ、人数の確認、連絡事項などに思いのほか時間を取られます。時間のゆとりを持ってプログラムを組み立てましょう。

活動や運営についてご不明な点があれば本所職員にお気軽にお問い合わせ下さい。利用団体の皆様と一緒に計画を作っていきたいと考えています。